



東濃研究学園都市 プロポーザルコンペ 優秀作品決定



市、県、都市基盤整備公団がインターネットを使い、世界に向けて発信していた東濃研究学園都市の新しい二十一世紀型都市ビジョンの提案登録が九月に締め切られました。インターネット発信中は、東濃研究学園都市を大いにPRすることができました。

この期間中に寄せられた登録件数は、国内百四十四件と国外(三十一カ国)八十七件の計二百三十一件で、その中から十一月の提案応募締切日までに、四十二案(国内二十四、国外十八)の応募がありました。昨年十一月に審査委員会(名古屋工業大学学長柳田博明委員長ほか十一人)が開かれ、提出された提案は、アイデアの獨創性、提案内容の事業性・実現性、提案主旨への合致性、表現性の四つの観点から審査され、その中から最優秀賞二点と優秀賞四点が決まりました。

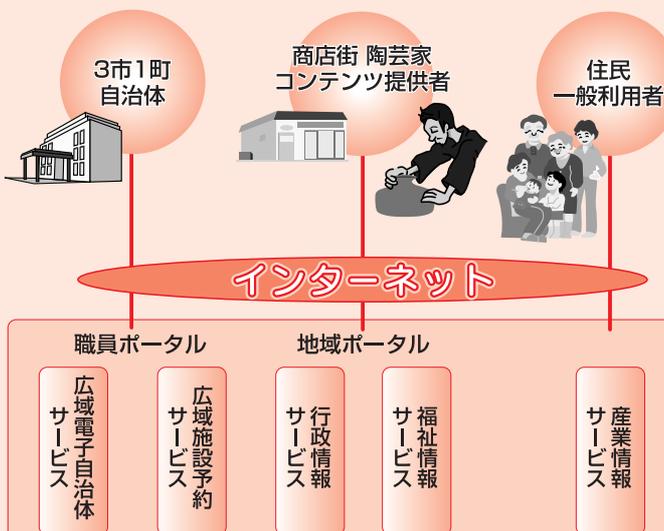
最優秀賞に決まったのは、日本工営(東京都)のグループによる「出る杭(研究者、起業家、経営者)を育てる、東濃ニューシティ」、水井敬建築設計事務所(東京都)の「線形環境体」の二提案。両提案は基礎研究を産業興



審査の様子

しにつなげる街づくりの方策の展開と都市に集まる人たちを結びつける仕組みなど一歩踏み込んだ内容であったり、都市機能・都市構造・都市経営などを総合的に勘案し、将来の都市成長を段階的に提案したものとなっています。今後は、これらの提案を整理した上で、県、公団とともに検討し、二十一世紀型の都市実現に向けて活用します。応募作品のうち、本審査された作品は、ホームページ(<http://www.gifutono.com>)に掲載される予定です。また、一月二十五日にセラトピア土岐で開催される研究学園都市フォーラムで、最優秀提案のプレゼンテーションを予定しています。詳しくは、研究学園都市推進室(内線215)へどうぞ。

東濃データセンター(COC)稼働! 3市1町の情報サービスを集約



この事業は、経済産業省が全国5地域を指定し、IT装備都市研究事業を基礎としたコミュニティ連携を推進するデータセンターに関する研究開発・実証事業として行うものです。今年度多治見市、土岐市、瑞浪市、笠原町がフィールド団体として、その1地域に指定され、住民の皆さんにインターネットを利用した情報提供サービスを行っています。

これは、行政情報、観光情報、福祉情報、産業情報、防災情報、広域施設予約など3市1町の情報を集約したホームページで、子ども向けページとして東濃の歴史や陶磁器の歴史なども紹介しています。

インターネットでアクセスしてみてください。

e-neイネ! とうのうURL <http://www.to-no.jp/>

なお、この事業は3市1町の行政や企業が共同のシステムを利用することにより、情報システムの開発経費コスト削減を図ることも研究されています。

東濃コミュニティデータセンター

